

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年10月18日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670600164
法人名	有限会社 花
事業所名	ふれあいホーム花(2号棟)
所在地	鹿児島県阿久根市西目6283番地2 (電話) 0996-72-7171
自己評価作成日	平成28年10月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成28年11月9日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

自然豊で静かな環境にあり、海、山が近く、季節の海の幸、山の幸に恵まれ美味しい食材が豊富である。季節の魚介類を地元の魚屋より週3回購入し、週1回は必ず新鮮な刺身を提供している。季節に合わせ、ホーム内で春はウニ丼祭り、秋は芋煮会などホームの畑で取れた里芋等新鮮な野菜を使用して食事を提供している。

地域の住民との交流などもあり、地区の盆踊りや運動会への参加、敬老会など地区の方々の踊りの慰問などもあり、地域住民が交流を自主的に参加して頂き、ありがたいかぎりである。

医療面では、看護師2人、准看護師1人勤務し利用者の健康管理を実施し、主治医の指示の基、ホーム内で注射や在宅酸素の管理を行っている。スタッフの勤務態勢も、スタッフ一人ひとり細かく勤務希望を聞き、勤務表を作成している。何か問題が生じたときは、安心して仕事が交代できるような体制作りをしている。スタッフ自身が、利用者にとって環境の一部として認識し、利用者に気配りができるように取り組んでいる。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営 2号棟					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	5つの理念を日々の朝会や勉強会でスタッフ同士提唱し、ケアを実践できるように取り組んでいる。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の行事には声をかけていただき、盆踊りや運動会など参加させて頂いている。また、災害時(台風等)など避難場所として多目的ホールを開放している。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	市町村主催の研修や勉強会に参加したり、認知症サポーター養成講座を開催したりしている。スタッフ全員が認知症サポーターである。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の介護度や身体状況、気になる方など毎回報告している。その中で、推進委員の方からいろいろな助言を伺い、ホームの運営に活かしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>毎月、入居者情報提供書の提出や、包括支援センター主催による研修にも参加している。他施設とのグループワーク等もあり関係作りもできている。</p>		
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしない宣言を掲げており、原則、身体拘束はしない方向にある。しかし、生命に係わる状況時は家族、本人の同意の上マニュアルどおりに実施することを家族には伝えている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待については勉強会を開始したり、日々の業務の中でも言葉遣いをスタッフ同士で注意したりしながら、言葉による虐待もないように努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>協力病院主催による勉強会で、社会福祉士から成年後見制度についての勉強会に参加したりして知識を深め、必要があれば活用、支援できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>利用者、家族との契約時に契約の締結、解約については、内容を説明している。契約改訂時は文書、同意書を作成し、内容を確認した上で同意書への署名、捺印をお願いしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>日々の業務の中や、家族の面会時に意見や要望を聞き、できるだけ利用者、家族の希望や要望をケアに反映できるようにしている。</p>		
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>管理者は日々の業務やホーム内の勉強会で、職員の要望(勤務態勢、物品等)や意見を聞き業務がスムーズに実施できるように努めている。</p>		
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の勤務状態や、免許習得により給与水準や介護処遇改善交付金の料金を設定している。勤務態勢も、職員の希望を取り入れて作成し、働きやすい職場環境にありように取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>他施設の勉強会や交流会に参加している。月1回の当施設での勉強会でもスタッフか課題を決めて、交代で講師を務め勉強会を開催している。介護福祉士や介護支援専門委員の資格習得も勧めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム協議会の研修に参加したり、ホーム内で課題を出して勉強会をそれぞれのスタッフが開催したりして、自己啓発に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ホームの理念の優しさや、勉強会でマザーテレサの言葉「笑いなさい。笑いたくなくても笑うの。人間には笑顔が必要なのだよ」を頭に入れて、ホーム内では笑顔で利用者に接するように心がけ、良好な信頼関係が築くことができるように取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族は入所当初は利用者のことが心配であるので、家族の了解があれば定期的にラインを使用して写メを送信したり、心配ごとや頼み事もラインを使用して連絡を取り合い、関係作りを実施している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	当施設に入居する前に、利用者、家族に施設でしてもらいたいサービスやケア内容を聞き、利用者、家族の希望するケアを支援できるように取り組んでいる。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者の能力に応じて、スタッフと一緒にできる作業（洗濯物たたみなど）は一緒に行い、馴染みの関係作りができ、生活に張りや楽しみが持てるように取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	遠方にいる家族も最低でも年に1回は会いに来て頂き、家族との絆を断たないようにお願いしている。緊急の入院時も、できれば家族に対応して頂き、寂しい思いをさせないようにお願いしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	法事など家族との外出や外泊など希望があれば、いつでも対応できるようにしている。家族との絆や関係が途絶えないようにケアプランの中にも、面会や外出、外泊などの支援もお願いしている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う、利用者同士、テーブルについてもらい楽しく会話をしたり、利用者同士が気をかけたり、入院していない利用者のことを心配したりと、互いに支え合い温かく声かけする場面がみられる。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用者がホームを退所し、入院死亡してからも家族がホームに訪れ、亡くなった利用者の思い出話をしたりして、サービス終了後も、家族と良い関係作りができています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の名前の呼び方や、生活習慣を聞き、飲酒や喫煙などの思考や食事の好みなどを把握して、個別性を重視した対応を心がけている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族の会話の中で、これまでの生活暦を把握し、日常の会話の中に取り入れ、利用者スタッフ間との馴染みの関係作りができるように取り組んでいる。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとりの能力に応じて、テーブル拭き、洗濯物タタミなどの動作や、自力での排泄、食事、移動などの状態把握、会話の中から状態把握などを日々実施している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアを実施して行く中で、日頃の問題点をスタッフから、都度抽出してもらったり、家族の訪問時に意見を伺ったりして、介護計画を作成するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や連絡ノートに利用者の日々の状態を記入し、日々の申し送りや勉強会などで話し合い、スタッフ全員が同じ情報を共有し、ケアができるように取り組んでいる。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族と急な外出・外泊や、利用者の急変時等の病院受診時の対応や買い物等、都度家族に連絡を取り、ホームでの対応がいつでもできるように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の運動会や盆踊りに参加させて頂いたり、敬老会には地区の民生委員や近所の人達の踊りなど、慰問に来て頂き、利用者は楽しく過ごして頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院はあるが、本人、家族の希望する掛かり付け医の受診希望があれば、希望病院を受診するようにしている。家族が受診に付き添えない場合は、スタッフが同行している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎日の朝の検温や、それ以外に状態の変化がある利用者には、その都度、バイタルチェックを行い、問題がある場合は、看護師に報告し、すぐ対応ができるようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	病院入院時は、各病院や家族と連絡を取り合い、情報交換しながら対応している。退院後の対応もホームに帰る場合や、他施設に入所になる場合など、家族や連携室スタッフと連絡を取りながら対応している。協力病院の研修会にも参加し、連携を取っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	看取りケアについては、本人や家族と話し合いを持ち、日々の状態の変化に合わせて、主治医や協力病院と、連携を取りながら、利用者、家族にとって良好な終末期を迎えられるように支援している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時の対応ができるように、消防署職員による、救急時の対処方法や、ホーム内の勉強会でも急変の対処法(AED使用・窒息時の対応)などを開催し、対応ができるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地震時の対応の勉強会を行ったり、夜間想定火災訓練を実施したり、災害時、避難場所として地域の方にも利用して頂けるように、飲料水や保存豆腐等を確保している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者にかける、声のトーンや話す早さ、顔の表情、目線など気をつけながら優しく声かけするように心がけている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の好み(食事、お茶の温度、入浴方法、喫煙、飲酒)などできるだけ希望を把握し、対応できるように取り組んでいる。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	自室でテレビ鑑賞をしたい方、レクリエーションに参加したい方などその方にあった生活スタイルを尊重して対応し、決して無理強いはしない対応を心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	定期的な髪の手入れ、カットやカラーリング、利用者の希望する衣服やアクセサリーを使用して頂き、身だしなみを整えている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	季節に応じて地元で採れた新鮮な食材(竹の子、うに、ワカメ、魚、野菜、果物等)を使用して食事を提供したり、つわむきや竹の子むきなど、下ごしらえを職員と一緒に実施している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者の食事や水分量を、職員全員が把握できるように毎日記録に残している。カリウムや、塩分制限などある方がいるので、通院時のデーターや主治医との連携を取りながら対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎日、毎食後、歯磨き、義歯洗浄を実施し、口腔内の清潔を保つようにしている。10月より訪問診療による歯科検診を実施してくれる歯科があり、家族の了解で定期的な歯科検診を検討している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	日中はできるだけ、トイレで排泄ができるように取り組んでいる。食前、食後は排泄を促し必ずトイレへの誘導を実施し、気持ちよく食事を摂取できるように援助している。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食物繊維の豊富な芋類や野菜、牛乳や乳製品(ヨーグルト、RI)などを摂取し、排泄を促している。毎日、レクリエーションや歩行訓練を実施し腸内の動きが良くなり、排便を促すように心がけている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	利用者の入浴日や時間を決めてはいるが、利用者の希望で、いつでも入浴ができるようにしている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない利用者がいたら、ホットミルクや好みの飲み物を飲んでもらったり、天気の良い日にはシーツや布団を干したりして、気持ちよく眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	必ず、看護師が薬のセッティングを実施し、服薬介助を実施する職員も、声を出して名前を確認するようにしている。薬の作用、副作用についても勉強会をホーム内で開催し薬について理解を深めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	希望があれば自宅までドライブをしたり、好きな飲酒や喫煙をしたりと、その方々の好みや、楽しみをもって過ごせるように支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	自宅に帰ってみたいと言う利用者がいれば、自宅までドライブを行い、鍵を使用して家の中に入り、空気の入換えをしたり、仏様に手を合わせてから帰ったりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金を管理している方はいないが、利用者の希望の買い物があれば、家族との相談のうえ下着や靴、お菓子やあめなどを購入し、立て替え払いにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者個人で携帯電話を所持している方も1人いる。いつでも電話ができるように対応している。時には、家族にラインで状態を写メで送信している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>毎日、日勤スタッフで玄関、廊下、浴室、食堂、台所、居室、寝具、トイレ等、掃除を行い清潔を保ち気持ちよく過ごせるようにしている。天気が良く、気持ちの良い日には、利用者と一緒に庭掃除を行っている。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>居室で家族とお茶を飲みながら会話を楽しんだり、自室でテレビを見たり、昼寝をしたりして利用者の好きなように過ごす事ができるように配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>希望があれば、本人が使い慣れたベッドや寝具を持って来て頂いている。位牌やテレビを持って来ている利用者もいる。部屋に家族写真を飾っている利用者もある。</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>建物内部は全面バリアフリーで、利用者個々人の能力に応じて、デッキで洗濯物干しをしたり、台所で魚のこしらえをしたり、下膳を手伝ってもらったりと、できる利用者はできるだけ作業に参加して頂いている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない